

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果  
(24002：海洋生物資源確保技術高度化)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	23件
改善・見直しをした上で推進すべき	4件
推進すべきではない	3件
その他	0件
合計	30件

【主なご意見】

水産物の漁獲量は、すでに減少傾向にある。今後地球温暖化の進行に伴い、有用水産種の移動や生育障害などが起き、漁獲量はさらに減少する可能性がある。今のうちに、海洋生態系の解明と、今後の水温上昇時への対応を考えておかなければ、近い将来国民に水産物を供給できなくなる可能性が高い。海洋生物資源の基礎データを収集することは重要であり、積極的に推進すべきであるが、農水省の意見を踏まえるだけでなく、農水省が管轄する施策との積極的な統合を図り、効率的かつ総合的な研究をはかることが出来るよう改善すべきである。

本施策を新規で行う意味が全く理解できない。マグロ養殖やウナギ養殖の話題に乗った施策であり、基本的に理念が全く感じられない。内容を読むと、基礎的な研究部分だけを行い、実際の実用段階は農水省などにゆだねるのではないかと思われる。まさに、実際的な問題を抱える農水省などへの基礎的分野の名をかりた文部省のただ乗り施策であろう。